

官民連携の社会的投資モデルで実現する地域づくり

ソーシャル・インパクト・ボンドを 活用した地域振興を考える

SIBとは、「2010年にイギリスで開発された社会的投資モデル。
投資家の出資により、民間企業団体が社会課題解決に向けた事業を実施、
行政経費が削減される成果が上がれば、自治体等が投資家に報酬を支払う官民連携の仕組み。」とされ、
国内でも、横須賀市等複数の自治体で実証実験が開始されています。
昨年12月にはNHKでも「社会を変えるかSIB」と特集される等、今非常に注目を集めています。

【日 時】平成28年6月4日(土) 15:00～17:00

【場 所】下地農村環境改善センター

【参加費】1,000円 ※事前申し込みが必要です。 ※全額講師の旅費等に充てます。

【テーマ】SIBの概要と今後の対応案について

講師：ケイスリー(株)代表者 幸地正樹 WEBサイト：www.k-three.org

●第1部 講演「概要説明～SIBとは～」 (15:00～15:40)

質疑応答(15:40～16:00)

(休憩 16:00～16:10)

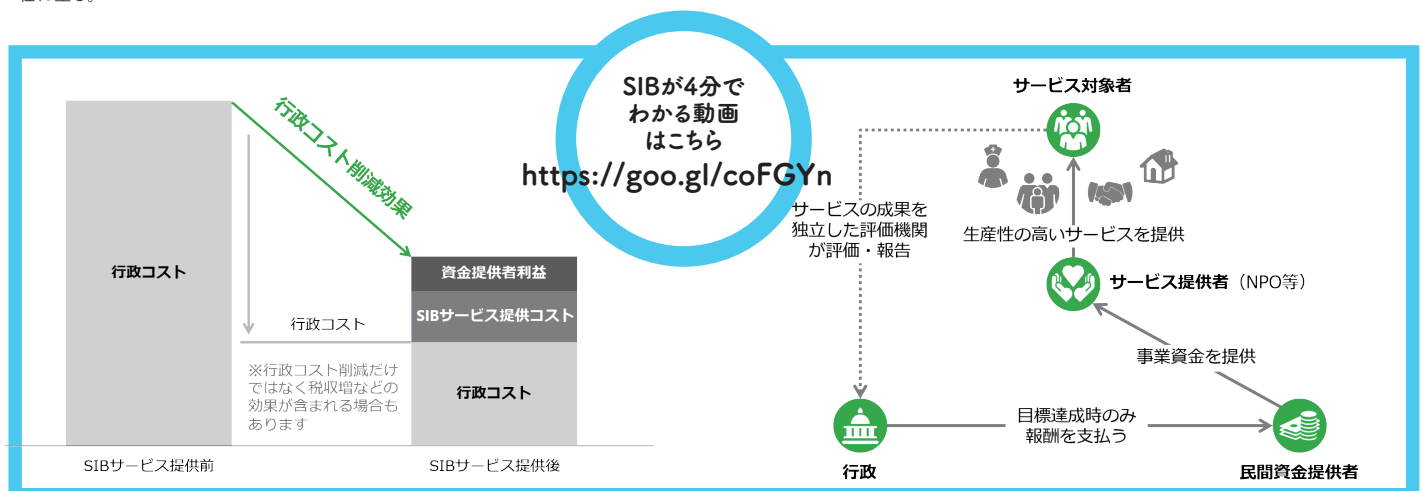
●第2部 講演「気になる領域に関する対応案」(16:10～16:50)

質疑応答(16:50～17:00)

【講師紹介】

◆幸地正樹様(ケイスリー(株)代表/ソーシャルインパクトボンドジャパン運営)

1981年沖縄県那覇市生まれ。大学卒業後、リクルートグループを経て、2007年にプライスウォーターハウスクーパース株式会社へ入社。主として中央省庁や地方自治体など行政機関に対する業務・システム最適化に係る計画策定支援、計画実施に向けた調達の企画・事業者評価支援、実施プロジェクトのプロジェクト管理支援等の業務に従事。2015年より日本財団及び SROI ネットワークジャパンが取組むソーシャルインパクトボンド推進事業に参画し、中央省庁や地方自治体の SIB 導入可能性調査など案件組成支援の他、ソーシャルインパクトボンドジャパンの運営やセミナー開催などに携わる。2016年にソーシャルインパクトボンドを含むインパクト投資やインパクト評価に特化したコンサルティングファームを設立し、現在に至る。



新しい官民連携の仕組みについて、学びを深め、今後の地域づくりについて、ディスカッションしませんか。

また、セミナー終了後、18時から講師の方を交えて懇親会を開催します。

セミナー申込みの際に懇親会への参加可否も併せてご連絡をお願いします。

場所は未定ですが、会費3千円程度を予定しています。

お申し込み・お問い合わせは、宮古島市役所エコアイランド推進課三上暁まで m.satoru@city.miyakojima.lg.jp